

令和2年度
事業説明資料【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	02	144380	清掃センター改修事業費
単位:千円					
		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	5,824		5,824
財 源 内 訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	4,500		4,500
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,324		1,324
特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返	期間限定	令和2年度	～ 令和2年度
部重点施策における目標					
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています					
事業開始の背景・経緯					
昭和29年「清掃法」施行、昭和45年「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、一般廃棄物の収集、運搬及び処分は市町村の責務とされている					
事業概要					
最終処分場キュービクル更新 5,824千円 (1983年製、36年経過)					

担当部署	15150000 市民生活部 清掃センタ	担当課長	松原 弘明
意見・要望等の状況			
事業手法の詳細 1			
最終処分場キュービクル更新 5,824千円 (1983年製、36年経過)			
・最終処分場（花巻市東和町東晴山第16地割地内）			
浸出液処理施設の受電設備の更新（1983年製、36年経過） 保安管理業者より更新指摘有（更新推奨：およそ15～20年）			
（最終処分場の埋立処理は、これから十数年間は可能な状況である。 また埋立完了後も、しばらくの期間浸出液の処理を行わなければならない、 今後およそ20年間は、施設管理が必要なものです。）			
・キュービクル更新 1式 （上屋解体復旧、高圧ケーブル入替、高所クレーン作業等）			

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	02	144380	清掃センター改修事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

事業説明資料 **【事後評価】**

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144410	不法投棄防止事業費

單位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		938	890		-48
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	938	890		-48

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

豊かな自然と生活環境を守り生活しています

事業開始の背景・経緯

ごみの不法投棄が後を絶たないため本事業を開始。

事業概要

不法投棄防止パトロール	480千円
不法投棄防止啓発看板の配布等	291千円
不法投棄ごみ撤去	118千円
不法投棄対策研修会	0千円

担当部署	15100000 市民生活部 生活環境	担当課長	松原 弘明
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

不法投棄防止事業 R2 889千円 (R1 938千円 前年度比 -49千円)

1. 不法投棄防止パトロール 480千円(増減なし)
不法投棄防止・早期発見のため監視員を委嘱し、市内のパトロールを月2回実施する。
2. 不法投棄防止啓発看板の配布等 291千円(-48千円)
看板 168千円、不法投棄監視カメラ 110千円、一般消耗品 13千円
3. 不法投棄ごみ撤去 118千円(-1千円)
不法投棄家電処理 112千円、不法投棄廃タイヤ処理 6千円
4. 不法投棄対策研修会参加 0千円(増減なし)

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144410	不法投棄防止事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度
事業説明資料【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144420	再資源化推進事業費
単位:千円					
		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		17,949	16,783		-1,166
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	11,000		11,000
	一般財源	17,949	5,783		-12,166
特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返	期間限定	~	
部重点施策における目標					
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています					
事業開始の背景・経緯					
大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会システムを抜本的に改め、環境への負荷を低減させた「循環型社会」に転換していくために本事業を開始。					
事業概要					
3R推進 ・資源集団回収奨励金 11,892千円 ・資源集団回収運動優秀団体表彰事業 38千円 ・生ごみのたい肥化(大迫地域) 1,236千円 ・啓発、資源回収車両管理等 1,244千円 ・ごみ減量アドバイザー設置 2,373千円					

担当部署	15100000 市民生活部 生活環境	担当課長	松原 弘明
意見・要望等の状況			
事業手法の詳細 1			
再資源化推進事業 R2 16,783千円 (R1 17,949千円 前年度比 1,166千円)			
1. 資源回収奨励金交付事業 11,892千円 (1,052千円) < 奨励金単価 > 金属類 (10円/kg)、紙類 (5 円/kg)、アルミ類 (5 円/kg)、ビン類 (2 円/本)、布類 (5 円/kg) 花巻 8,297千円 (940千円) 大迫 954千円 (65千円) 石鳥谷 1,453千円 (109千円) 東和 1,188千円 (68千円) 計 11,892千円 (1,052千円)			
2. 資源集団回収運動優秀団体表彰 38千円 (13千円) 副賞(報償費) 30千円 表彰用物品 8千円			
3. 生ごみのたい肥化 1,236千円 (3千円) 収集運搬委託費 1,236千円			
4. 事務経費 1,244千円 (105千円) 出前授業・講座用物品、車両管理費等			
5. ごみ減量アドバイザー 2,373千円 (7千円) アドバイザー報酬等(1人) 2,071千円 減量推進車借上料、燃料費 302千円			
その他のリサイクル活動 使用済小型電子機器の分別回収 携帯電話やリモコンなどの小型電子機器を本庁・支所・ごみ集積所において回収 廃食用油の分別回収 家庭から排出された廃食用油をごみ集積所において回収し、リサイクルを行う。 衣類の分別回収 不要になった衣類をごみ集積所において回収			

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144420	再資源化推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度
事業説明資料【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144430	ごみ処理事業費
単位:千円					
		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		73,979	80,939		6,960
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	220	40		-180
	一般財源	73,759	80,899		7,140
特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返	期間限定	~	
部重点施策における目標					
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています					
事業開始の背景・経緯					
一般廃棄物の収集・運搬、処理のために本事業を開始。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村に一般廃棄物の処理が義務付けられている。					
事業概要					
家庭ごみ分別表及びカレンダー作成配布等 4,668千円 花巻温泉郷廃棄物処理組合補助金 14,000千円 岩手中部広域行政組合負担金 58,190千円 災害廃棄物処理計画策定業務委託料（繰越明許） 4,081千円					

担当部署	15100000 市民生活部 生活環境	担当課長	松原 弘明
意見・要望等の状況			
事業手法の詳細 1			
ごみ処理事業 R2 80,939千円 (R1 73,979千円 前年度比 + 6,960千円)			
1 ごみ分別表・カレンダー作成等 4,668千円 (822千円) 廃棄物行政担当者研修会旅費 0千円 ごみ分別表、カレンダー印刷 4,537千円 消耗品 131千円 ニホンジカ等処理手数料 0千円			
2 花巻温泉郷廃棄物処理組合補助金 14,000千円 (2,000千円) 花巻温泉郷廃棄物処理組合が実施する廃棄物処理の経費に対する補助金交付			
3 岩手中部広域行政組合負担金 58,190千円 (+ 5,701千円) 負担金合計 58,190千円 <内訳> 総務費分 20,676千円 公債費分 35,381千円 運営費分 2,133千円			
4 災害廃棄物処理計画策定業務委託料 4,081千円 (繰越明許)			

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144430	ごみ処理事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度
事業説明資料【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144440	ごみ収集運搬事業費
単位:千円					
		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		206,969	211,657		4,688
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	206,969	211,657		4,688
特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返	期間限定	令和2年度	～ 令和2年度
部重点施策における目標					
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています					
事業開始の背景・経緯					
昭和29年「清掃法」施行、昭和45年「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、一般廃棄物の収集運搬及び処分は市町村の責務とされている。					
事業概要					
家庭系ごみの収集 211,657千円 ごみ収集運搬委託（可燃物は岩手中部クリーンセンターに搬入、可燃物以外は清掃センターに搬入） 内訳（千円）：（花巻122,045、大迫26,296、石鳥谷32,824、東和30,492）					

担当部署	15150000 市民生活部 清掃センタ	担当課長	松原 弘明
意見・要望等の状況			
事業手法の詳細 1			
家庭系ごみの収集 211,657千円 ごみ収集運搬委託（可燃物は岩手中部クリーンセンターに搬入、可燃物以外は清掃センターに搬入）			
塵芥収集事業（平成25年度より全地域委託（完全民間委託）） ・収集品目、回数 （1）可燃ごみ：週2回（月木、火金） （2）不燃ごみ：月2回 （3）資源ごみ （その他プラ）：週1回 （ペットボトル）：月2回 （ガラスビン無色、茶、その他）：月2回 （衣類、毛布）：第5週の水曜日（5,8,10,1月） （小型電子機器）：月2回 （廃食用油）：月2回 ・業務委託 （可燃、不燃ごみ等項目ごとに積算） （必要台数×収集日数×単価（1日当りの人件費、車両、経費等） ・委託区分 （1）花巻：6（周辺、市街地区1,2,3,4,5） （2）大迫：2（大迫1・内川目、大迫2・外川目亀ヶ森） （3）石鳥谷：2（可燃、可燃ごみ以外） （4）東和：2（東和1可燃、東和2可燃可燃ごみ以外）			

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	02	03	144440	ごみ収集運搬事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3